

大戸川ダム建設事業の概要

国土交通省 近畿地方整備局

大戸川ダム建設事業位置図

■大戸川

- 流域面積 約 190 km²
- 幹川流路延長 約 38 km

■大戸川ダム集水面積 約 152 km²



大戸川ダムの位置



大戸川ダム建設事業の概要

○場所：

淀川水系瀬田川支川大戸川

左岸 滋賀県大津市上田上牧町地先

右岸 滋賀県大津市上田上桐生町地先

○目的：洪水調節

○総事業費：約1,080億円
(平成19年度単価)

○堤体諸元等：

型式 重力式コンクリートダム

堤高 約67.5m

標高 約252.5m

堤頂長 約200m

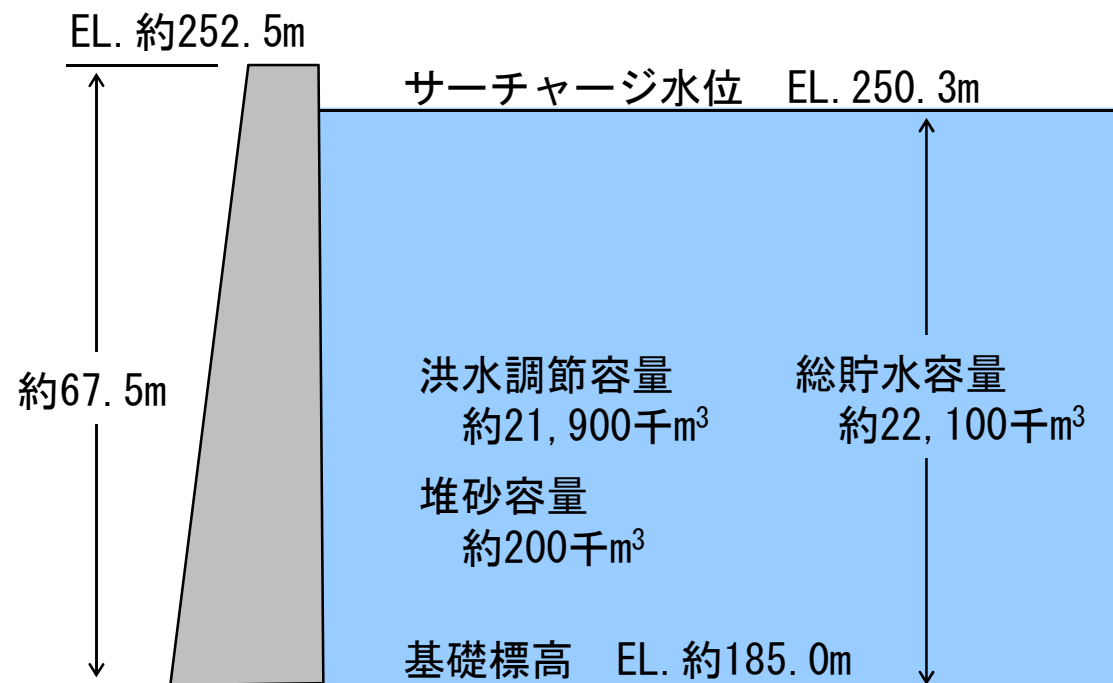
集水面積 約152km²

貯水面積 約120ha

総貯水容量 約22,100,000m³

洪水時最高水位 標高250.3m

大戸川ダム貯水池容量配分図



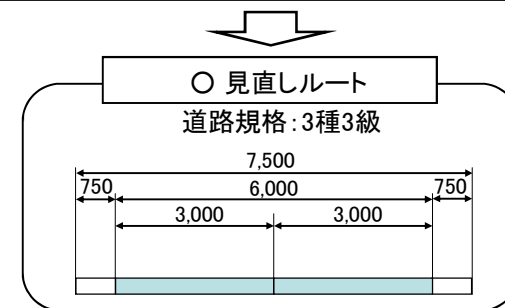
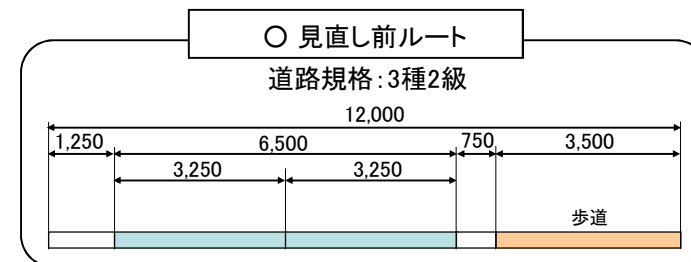
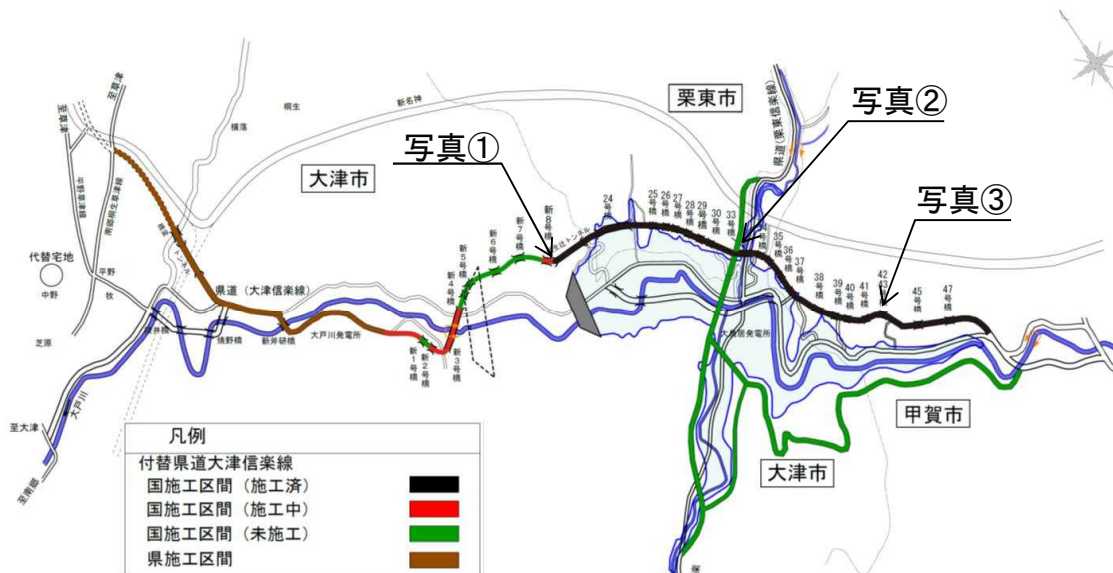
注)大戸川ダムは、実施時期を検討中であり、今後、上記数値が変更になる可能性があります。

大戸川ダム 主な経緯

昭和53年 4月	ダム実施計画調査着手
平成元年 5月	ダム建設事業採択
平成 3年 3月	特定多目的ダム法に基づく基本計画告示
平成 6年10月	大戸川ダム建設事業に伴う損失補償基準協定書の締結
平成10年 3月	大鳥居地区 移転完了
平成11年 6月	付替県道大津信楽線 着工
平成13年 7月	水源地域対策特別措置法に基づく水源地域整備計画 決定
平成17年 7月	淀川水系5ダムについての方針 公表
平成19年 8月	「淀川水系河川整備基本方針」 策定
平成21年 3月	「淀川水系河川整備計画」 策定
	➤ 大戸川ダム本体工事については、中・上流部の河川改修の進捗状況とその影響を検証しながら、実施時期を検討することとした。
平成21年 4月	淀川水系水資源開発計画（全部変更）で大戸川ダムを削除
12月	検証の対象となるダム事業に区分
平成22年 8月	大戸川ダム建設に関する基本計画廃止の法令手続き開始
平成23年 3月	大戸川ダム建設に関する基本計画廃止

大戸川ダム 進捗状況①

県道大津信楽線の付替工事については、交通機能を確保できる必要最小限のルートとなるよう見直しを行うなど徹底的にコストを縮減した上で継続実施しています。



桐生辻トンネルから下流を望む



33号橋付近から上流を望む



42号橋付近から上流を望む

大戸川ダム 進捗状況②

(平成27年3月末現在)

事業の経過	調査・地元説明	用地買収	生活再建工事	転流工	本体工事
	↑実施計画調査開始(S53) ↑建設開始(H1)				
	↑集団移転地に関する協定締結(H4) ↑一般補償基準妥結(H6) ↑集団移転完了(H10)				
	↑付替県道大津信楽線工事着手(H11) ↑付替県道大津信楽線ルート見直し(H21)				
	↑滋賀県の要綱に準じた環境影響評価の実施(H4) ↑付替県道・工事用道路に係る生態系保全検討会設置(H13) ↑大戸川ダム事業に係る環境保全検討会設置(H16)				
進捗状況	用地取得 (163ha)	84%(137ha)			16%(26ha)
	移転補償 (55戸)	100%(55戸)			
	付替県道 (9.5km)	60%(5.7km)		40%(3.8km)	

□ : 未実施

■ : 実施中

■ : 完了

※大戸川ダムは実施時期を検討